

令和5年度総合計画審議会における意見要旨

議題（1）：福岡県総合計画の実施状況について

- 今年度及び昨年度の県民ニーズ調査の結果から、福岡市への一極集中について危惧している方が多いように感じており、福岡県全体で発展することが重要。総合計画の数値目標の現状値について、県全体の数字だけではなく、地域別の内訳が見えると、県内で切磋琢磨していく気運ができて、県全体としてより良くなるのではないかと。また、さらには地域毎の目標を持ってもよいのではないかとと思う。
- 大規模な土地造成工事によりリサイクルが難しい建設汚泥が大量に発生したことで、産業廃棄物の最終処分量が増加したとのことであるが、建設汚泥のリサイクルが難しいと言われて長らく期間が経過している。国が進めている再生利用の推進や、企業等に対するリサイクル技術の支援など、取組を進めていただきたい。
- 「女性農林漁業者の能力発揮と社会参画を促進」とあるため、女性を増やすことを視野に入れていると思うが、「新規就業者数（農林漁業）」の数値目標は男女比の記載がなく、数字から状況が見えない。男女比とその増減を見て、女性農林漁業者の能力発揮と社会参画の取組が不足しているのであれば、促進する必要があるのではないかと。
- 「相談・指導を受けていない不登校生徒の割合[県立高等学校]」という数値目標が分かりづらい。絶対数の指標ではなく、母数が動いていくパーセンテージ指標だと各年度の比較においてひずみが出てくるのではないかと感じた。

議題（2）：令和5年度県民ニーズ調査結果について

- 行政に力を入れてほしいことの中で「県の広報」では「防災情報」が2位、「デジタル化」では「ドローンや河川のセンサー情報等を用いた災害対応の迅速化効率化」が2位に挙がっている。このような結果を見ると、拡大解釈かもしれないが、県民の方々は、災害が起きても被災しないための対策を望まれているのではないかと。災害は毎年のように起きているため、起きることは前提で防御策を取れないか。
- 地震に関しては、東京都を中心にかなりマニュアル等々の整備が進んでいる。一方、水害に関しては、記録的な豪雨が続いているような状況。土砂崩れや、避難所、現状復帰など、水害によって生じる様々な問題に対する対策の検討を行っていると思うが、世の中には知られていないと意味がないので、周知を進めていただきたい。

- 調査を実施する部局と施策に落とし込む部局との連携・フィードバックがかなり重要。そこを具体的にどう進めているかを見える化して、分析していくと良いのではないか。また、アンケートをとって調べるというのは手段であって、最終的な目的は施策にフィードバックするということであるため、手段と目的がきちんとマッチしているか、常にチェックしながら進めていただきたい。